



# ぶどう特報

## #2



2024年3月28日  
JA中野市園芸課  
JA中野市ぶどう部会

発芽は平年並みか平年よりやや遅くなる見込みです。発芽前は土壤乾燥等による結果母枝の枯れ込み・発芽不良・生育の不揃いが心配されます。園地の保水は早め実施してください。また、樹体観察を適宜行い、休眠期・発芽前の防除を適期に実施してください。

年度	巨峰発芽	シャイン発芽	特記
平年	4/25	4/28	過去10年平均値 (H26~R5)
2023年 (R5)	4/16	4/19	発芽過去10年間の中で最速。5月の低温で開花停滞。
2024年 (R6)	4/26頃	4/29頃	発芽平年比0~+2日位の見込み

### 【第1回 定期散布 \*対象：巨峰・ナガノパープル等】

散布時期	発芽直前 *4月中下旬頃	散布日：4月 日
散布薬剤	水 100ℓ	散布量： ℓ
	展着剤（ハイテンパワー） 10 ml	
	パスポート顆粒水和剤 400g（休眠期・1回）	
散布量	300ℓ/10a	
適用病害虫	晩腐病・黒とう病	
注意事項	① 晩腐病密度抑制のため、発芽前に散布完了する。	

### 【第1回 定期散布 \*対象：シャインマスカット・クイーンルージュ®等】

散布時期	発芽直前 *4月下旬頃	散布日：4月 日
散布薬剤	水 100ℓ	散布量： ℓ
	展着剤（ハイテンパワー） 10 ml	
	劇デランフロアブル 500 ml（休眠期・1回）	
散布量	300ℓ/10a	
適用病害虫	黒とう病・晩腐病	
注意事項	① 黒とう病密度抑制のため、発芽前に散布完了する。 ② 【注意】デランフロアブルは葉焼けなどの薬害が発生するため、発芽前に散布完了する。	

～ 裏面もご覧ください。～

## ◆ 病虫害対策

### ① 粗皮はぎ

- ◆ 目的：ブドウトラカミキリ・カイガラムシ類・クビアカスカシバ等の主幹害虫対策
- ◆ 時期：藁外し終了後（4月上旬）
- ◆ 主幹害虫は基本的に粗皮下で越冬するため、休眠期防除前に粗皮はぎを行い、薬剤が直接かかるようにする。
- ◆ 凍霜害の心配な園地は粗皮はぎと薬剤散布を行い、藁外しの作業時期を遅らせる（凍霜害の心配がなくなってから藁外しを行う）

### ② 黒とう病・晩腐病対策

- ◆ 発病痕の除去：巻きひげや去年の発病を柵面から除去
- ◆ 枝管理（芽かき・新梢整理）を徹底し、薬液や空気の通りを良くする
- ◆ 薬剤散布は予防を意識し、生育ステージを確認しながら、やや早めに実施する
- ◆ 早期の袋かけの実施

## ◆ 植え付け必要資材

### ① 堆肥の施用

- ◆ 目的①：有機質の補給（化成肥料の使用は控える）
- ◆ 目的②：土壌改良（生育促進、新根発生促進、微生物増殖）
- ◆ おすすめ資材：エアープイント、エコマッシュ、スーパー響土 等

### ② 木炭

- ◆ 目的：通気性、透水性・保水性向上、土を柔らかくする
- ◆ おすすめ資材：もみがらくん炭、去年の枝の炭 等

### ③ リン酸：発根促進

- ◆ おすすめ資材：コーエーユーキリン

### ④ その他：スコップ、支柱、たっぷりの水（バケツ2杯分以上/1本）

## ◆ 植え付け方法

### ① 植え付け時期：4月中旬以降（地温上昇してから）～ 発芽直後まで

### ② 苗木は24時間以上、根を水につけて吸水させる。 \*乾燥による枯死防止

### ③ 直径80~100cm、深さ30~40cm程度の植え付け穴を掘る。

### ④ 掘り上げた土にエアープイント等の堆肥(1/2~1/3袋)、もみがらくん炭(10kg程度)を混ぜ、半分程度を穴に戻し、穴の中心が盛り上がるようにする。 \*深植え防止

### ⑤ 苗木の根を切り揃え、ユーキリン(1~2つかみ分)を根に付着させる。

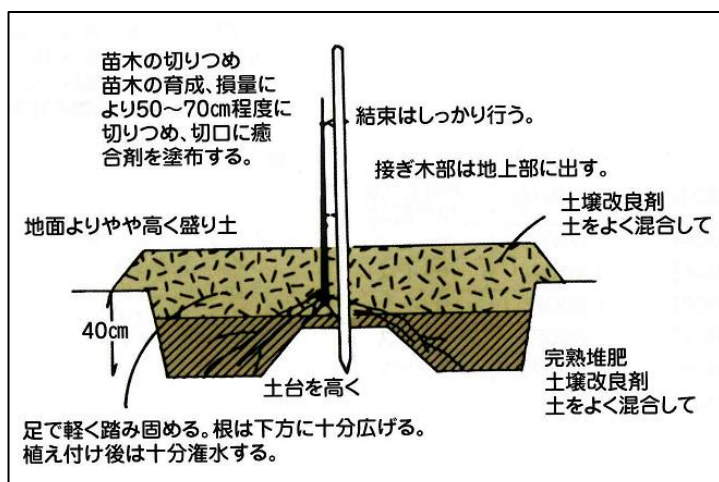
### ⑥ 穴の中心に苗木を置き、根を放射状に広げて、残りの土を戻す。

### ⑦ 苗木の芽を3~4芽程度に切り詰め、支柱を設置し苗木を誘引する。

### ⑧ たっぷりとかん水を行い、植え穴が乾燥しないようマルチやワラで地面を覆う。

\* エアープイント・もみがらくん炭・ユーキリンは営農資材店にて取り扱っています。

\* 化成肥料を施用する場合は、定植後とする。多量の施肥は根をいためる場合があるので注意する。



次回特報配布予定：4月16日頃 カイガラムシ類特散・発芽直後・展葉3枚目の定期散布